

番組研究委員会 実践レポート

1 提案者 氏名 須田 英幸（長野市立緑ヶ丘小学校）

2 提案内容

（1）単元名

「よりよいクラスにしていくために」

（2）利用した番組名

「ココロ部（みんなに合わせる友情）」

C-13 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること

（3）授業のねらい

いじめをなくしていく具体的な方法について考え始めた子ども達が、クラスメイトと SNS を使う場面で、ななみが周りに合わせる意見をしてしまったときの気持ちを考えたり、同調を求められた児島がとるべき行動を話し合ったりすることを通して、クラスメイトに対して公正、公平な態度をとろうとする実践意欲を育てる。

（4）授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	発問	指導・助言	備考
導入	1 友情と真の友情について話し合う (動画をななみの「そうだね」の返事場面まで視聴する)	・友情は友達 ・真の友情は、信じ合える関係 ・ケンはやな人だなあ ・ハルトが流されちゃった		・友情と真の友情について問う	動画を視聴する
展開	2 状況把握をする 3 周りに合わせる意見をしてしまったときのななみ気持ちを話し合う (最後まで動画を視聴する)	・エリカとケンが仲間はずれにしている ・タイキは仲間はずれにされてしまった ・周りの人達は「そうだね」と言っている ななみが「そうだね」と言ったときの気持ちは？ ・本当は違うって言いたいけど、自分がいじめられそう ・大丈夫かなあと不安 ・空気を読まないといけない ・苦しい ・えっ！せめて解決しようよ ・これで終わりなの！？		・今の状況について確認する ・ななみが仲間はずれになった経緯を確認しておく ・ななみの気持ちについて話し合う。	

	4 同調を求められた児島がとるべき行動について話し合う	自分が児島だったら、どのように返事をしますか	・無視する ・タイキを悪く言うこともないし自分が仲間外れされることもないから ・思わないと答える ・仲間外れにされてもタイキと友達ならそれでいいから	・自分が児島の立場ならどう返事をするか話し合う	
終末	5 児島のクラスがよりよくなるにはどうしたらよいか話し合う	児島のクラスがよりよくなるにはどうしたらよいだろう	・説得を続ける ・文化祭や体育祭を楽しむ ・団結する ・傍観者が本当のことを言う	・クラスがよりよくなる方法を話し合う	動画を視聴する
				公正・公平を基によりよいクラスにしていく方法を考えられているか（発言・ノート）	

(5) 考察

- ・動画による教材であるため、相手の話し方やクラスの雰囲気が伝わりやすかった。そのため、考える場面では進んで自分の考えを書いたり、友達と話し合ったりする姿が見られた。
- ・動画の中では、完結せずに視聴者に考えを問う内容作りがされていたことにより、子ども達は自分で答えを見つけようと意欲的に考えることができた。
- ・SNS でのトラブルの様子を映像で表現されていたため、会話の雰囲気が伝わり、空気を読まないといけないという不安な気持ちが子ども達に伝わり課題意識を持つことにつながった。

(6) 番組への要望

- ・今回のように映像だからこそ伝わる内容を引き続き盛り込んでいただけるとありがたい。

